

野島活性化プロジェクト 野島活性化基本構想の方向性について（例）

資料3



将来、プロジェクトが進み、交流拡大と活性化の **好循環** が生まれる

茜島シーサイドスクールの魅力の向上（例）

- ◆魅力的な情報発信
- ◆交通費支援策
- ◆野島を親しむ授業の実施（総合授業）
漂着物を使ったアート作品制作、
みかん畑等による里山再生、夜間授業の実施、
野島ビエンナーレへの運営参加、
茜島つつじ再生計画 など
- ◆宿泊施設整備後、合宿の実施

- ◆学校・空家を活用した宿泊施設の整備
 - ・欠航時の宿泊施設、体験入学時の宿泊
 - ・交流合宿、宿泊学習
- （2次利用）
 - ・一般市民等の宿泊活用
 - ・のしま時間をしっかり体感できる施設整備
 - ・交流イベントが可能な施設

野島の利便性の向上（例）

- ◆地域おこし協力隊の定住化支援
 - ・野島の魅力の発信強化
- ◆野島海運のダイヤの改正
- ◆空き家等の活用（店舗・高齢者カフェ）
- ◆学校を活用した避難所等の整備
 - ・公共施設の再編
 - ・安心・安全な地域づくり

野島の魅力の再発見（例）

- ◆野島の滞在時間・利用回数を増やす仕組みの構築
 - ・野島ならではの交流イベントの開催
 - ・機運を盛り上げるイベントの開催
（県立大・地元企業による）
 - ・高齢者の健康イベントの開催
 - ・既存イベントへの積極的な参画
- ◆野島の自然を生かしたこどもも大人も楽しめる空間整備（船の待ち時間を楽しむ仕組み）